

ＪＡグループ鳥取自己改革推進レポート（１２月号）

1. ＪＡ子どもフェスタについて（ＪＡ鳥取県中央会）

ＪＡ鳥取県中央会は12月7日、琴浦町で「ＪＡ子どもフェスタ」を開催し、第55回わかば作文・図画コンクールとＪＡ共済鳥取県小・中学生第63回書道・第42回交通安全ポスターコンクールの受賞者を表彰した。「わかば」コンクールは、次代を担う子どもたちが、農業に親しみ、農業・食の大切さの理解促進を図る目的で、中央会が毎年実施している。受賞作品には、農業体験を通じた感動や、農業に携る家族への思いなどが素直に表現された作品が多かった。



わかば作文の部で県知事賞を受賞した八頭町立郡家東小学校2年の山本衣織さんは「毎年家族で行っている、楽しい田植えを書いた」と話した。図画の部で同賞を受賞した鳥取大学附属中学校1年の西川莉々子さんは、「自宅に届く、祖父が栽培する柿を想いながら描いた」と受賞を喜んだ。表彰式後、食農教育クイズやアトラクション「バルーン・エレクトーンショー」、大山乳業農協の白バラスイーツバイキングなどを親子で楽しんだ。

2. ＪＡ全農とつとりのＪＡ自己改革の実践

(1) 「鳥取アグリフェスタ 2019」を開催

11月27日に「鳥取アグリフェスタ 2019」をハワイアロハホールにて開催した。県内の担い手農家、営農組織の方を中心にＪＡ職員、行政関係等、多数来場した。午前中は講演、各農業技術の紹介、午後には圃場にて自動運転トラクターやドローンなどのスマート農業機械の実演会を行った。全農とつとりは今後も農家の皆様へ情報提供を行い、関係機関と連携しながら農家所得向上に向けて事業を進めていく。



(2) 多収米等の生産提案の取組拡大

全農はＪＡと連携し、生産者の所得、営農の安定を目指して実需者ニーズを踏まえた生産提案型事業を行っている。業務用実需者との契約栽培の拡大に取り組み、収量増で所得確保が見込める「多収品種」や、「用途別適性のある品種」の作付けを提案し、営農支援を行いながら生産拡大を図っている。(176ト/ha・前年比：360%)



提案品種は、作期分散や病害抵抗性など各地域の生産ニーズに基づき選定し、「あきだわら」「やまだわら」「ほしじるし」「とよめき」など農研機構が開発した品種を中心に扱

っている。現在、「販売・購買・営農」3部門が連携し、販売面では実需者と産地との契約栽培提案・結び付き、購買面では栽培暦の作成など、営農面では有望品種の選定や栽培技術支援を行っている。今後も「全農の総合力」を発揮し、取組拡大を進める。

3. 担い手金融リーダー会議を開催（JA鳥取信連）

JAバンク鳥取は、JAグループをあげて担い手支援に取り組んでいく中で、JAバンク鳥取として担い手金融対応強化を図るため、全JAおよび信連に、担い手金融実務の責任者となる「担い手金融リーダー」を設置している。

担い手金融リーダーの主な業務は、①担い手に対する融資・相談対応、②行政等関係団体との連携にかかる窓口業務、③農業融資実務に関する研修等の実施などとしている。

JA鳥取信連は、令和元年12月3日に県内JAの担い手金融リーダー約20名参集のもと、担い手金融リーダー会議を開催した。

会議では、JAバンク鳥取中期戦略の農業金融にかかる令和2年度の主な取組事項である農業金融競励制度や農業近代化資金の保証料助成制度および新規の取り組むJAバンク鳥取農業融資基盤拡充に対する助成事業等について説明し、取り組んでいくことを確認した。

また、県内JAにおける農業融資の優良事例報告、農林中央金庫による全国事例紹介として信用・営農部門の連携事例等の報告および農業法人投資育成制度の活用について説明を受けた。JAバンク鳥取では、このような優良事例を参考にしながら、担い手金融リーダーが中心となって農業融資シェアを向上させ、農業メインバンクとしての役割を一層発揮していく。

4. 令和元年度書道・交通安全ポスターコンクールについて（JA共済連鳥取）

JA共済では、組合員およびその家族の生命・財産を危険から守るための保障活動・地域貢献活動に積極的に取り組み、組合員のしあわせの輪をひろげるよう努力している。

その一環として共済事業の相互扶助・思いやりの精神を、次代をになう小・中学生にも伝えていくとともに、児童・生徒の書写教育に貢献することを目的として、小・中学生を対象とした「書道コンクール」を開催し、また、児童・生徒の図画工作・美術教育の高揚をはかり、交通安全思想を幅広く社会に訴えることを目的とした「交通安全ポスターコンクール」を開催している。

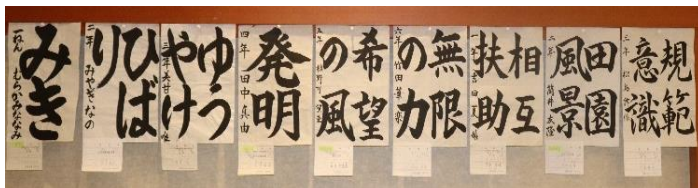
本県においても、令和元年6月～9月にかけてJAの所在区域内における小・中学校を対象に作品の募集を募り、書道部門8,172点(半紙の部7,850点、条幅の部322点)と交通安全ポスター部門486点の力作が寄せられた。

応募作品は、令和元年10月4日(金)に両部門の審査員により審査会が開催され、各部門・学年(小1～中3)ごとに金賞、銀賞、銅賞の162点と金賞作品の中から特別賞13点が決定された。金賞作品は、全国コンクールへ出品され、交通安全ポスター部門の農林水産大臣賞をはじめ、銀賞2点、銅賞2点と書道部門では銅賞1点、佳作6点に入賞した。

また、鳥取県コンクールの金賞、特別賞の受賞作品は、令和元年12月7日(土)に開催された「JA子どもフェスタ」において受賞者を招き、表彰式が行われた。



審査会の様子



鳥取県コンクール 金賞の作品



鳥取県コンクール
半紙の部と
条幅の部の金賞の作品



全国コンクール
農林水産大臣賞の作品